



第16回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー

WS-22「非専門医でもできる！アルコール関連問題の早期発見・早期介入」

【講師】

中井 翼（鳥取市立病院 総合診療科）

大塚 裕真（鳥取県立中央病院）

谷口 尚平（鳥取県立中央病院）

涌波 優（鳥取県立中央病院）

井上 和興（鳥取大学医学部附属病院地域医療学講座）

李 瑛（鳥取大学医学部附属病院地域医療学講座）

孫 大輔（鳥取大学医学部地域医療学講座）

芸能人の逮捕、飲酒運転など注目を浴びるアルコール関連問題ですが、自信を持って診療できていますか？

アルコール関連問題はコモンディジーズの一つで、過剰飲酒な方が約 1000 万人、依存症患者は約 100 万人いると言われますが、専門医を受診しているのはたった 5%！と推定されています。つまりプライマリケア医には「飲酒問題をスクリーニングし」「指導を行い」「依存症患者を専門医に繋げる」力が必要です。ただ『指導』と言ってもどうしよう？という方も多いのではないのでしょうか？

今回はブリーフインターベンション(BI)を紹介します。BI とは動機づけ面接などを駆使し本人のやる気を引き出す面接法で、非専門医でも短時間でできる介入方法として開発されました。本 WS では症例を用いたグループディスカッションを通じて、BI の要点を学んでいきます。

アルコール診療に苦手意識を持つ皆さん、我々と一緒に一緒に学んでいきませんか？